資料№1-1

県奨学金養成医師の配置調整に関するワーキンググループの設置について

1　目　　的

奨学金養成医師においても専門医志向は顕著であり、専門医資格取得のため都市部の大規模医療機関での勤務を望むものが多い状況である。また、専攻する診療科によっては、配置対象先となる中小医療機関で標榜していない等のミスマッチが課題となっている。

このワーキンググループでは、上記のような課題を整理すると共に、養成医師の義務履行とキャリアパスとを両立させるための方策について検討を行う。

2　検討事項

① 養成医師の配置調整に関する事項
② 義務履行中のキャリアパスのあり方に関する事項
③ その他関連する事項

3　ワーキングの位置付けと構成員

県地域医療対策協議会の専門組織である地域医療支援機構（以下「機構」という）内にWGを設置。

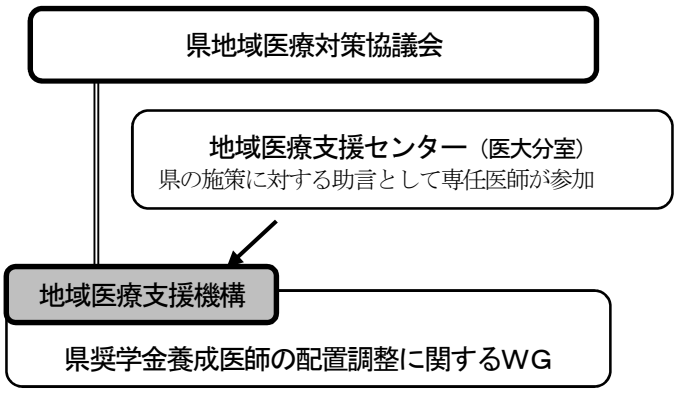
構成員名簿

	氏　　名	所　属　・　職　名
1	小林　誠一郎	岩手医科大学医学部長
2	伊藤　達朗	県立大船渡病院院長
3	谷田　達男	岩手医科大学医師卒後研修副センター長
4	北村　道彦	県立中部病院院長
5	望月　泉	県立中央病院院長
6	佐藤　元美	一関市国保藤沢病院院長
7	千葉　雅弘	岩手県保健福祉部医師支援推進室医師支援推進監
8	野原　勝	岩手県保健福祉部医療推進課総括課長

4　WGの成果目標

①各奨学金養成医師の配置調整に係る課題を整理し、基本的事項定める。
②具体的な配置のモデルパターンの作成。（対奨学生向け説明資料に掲載）

5　検討スケジュール（平成24年度～25年度）

９月にワーキング設置
（9月5日（水）第14回地域医療対策協議会）
第１回：課題の整理、成果目標設定
第２回：課題の検討
（第３回：課題の検討　中間とりまとめ）
（2月　第15回地域医療対策協議会）

平成25年度は24年度の課題を継続検討。